

「地球の全部リサイクル」

さいたま市 四年 宮腰 隼豪（みやこし はやひで）

地球には三つのやさしいエネルギーがあります。それは、

・太陽光

・風力

・ゴミ

です。この中で一石二鳥のエネルギーがあります。それは、ゴミです。

なぜかというと、ぼくたちにはいらぬゴミをきちんと分別して出せば、僕らの新しいエネルギーになります。

しかし、人の心がけでその量がへったり、逆に多くなったりします。なぜなら、普通のいらぬゴミとして出された役に立つはずのゴミは、資源にもされずにこのまま燃やされてしまうのです。これでは宝の持ちぐされです。ぼくは、

「人間のすて方で不要なゴミとなり、人間のすて方で宝となる」
と思いました。

リサイクルには他にも意味があります。それは、今地球にある資源がとても少なくなってきました。このまま続くと石油もなくなり、ボーキサイトもなくなり、鉄こう石さえもなくなってしまいます。そのような事が起きたならば、車が動かせない、車や鉄製品が作れないなどとても大変なことになってしまいます。このようになってしまったらもう取り返しがつきません。

そのため今のうちにいるいろいろな資源を大切にしましょう。ぼくたちにもできる心がけはたくさんあります。たとえば、

・ポイ捨ては絶対にしない

・石油でつくられている衣服などは大切に使う

などです。

「ちりもつもれば山となる」ということわざがあります。そのことわざのようにこつこつと小さなリサイクルを重ねていくことによって大きな利益につながるの

です。限られた資源を有効に利用するためリサイクルをすることが重要になると思います。たとえば、分別された資源ゴミのプラスチックは燃料として再利用することができます。

ぼくたちが小さな事を積み重ねていくことでとても大きなことにつながっていくと信じています。ぼくは何から何までリサイクルすることができ、「ゴミ」という言葉がなくなる世界を目指して一步一步進んでいきたいと思っています。